獅子太鼓（太鼓臺(台)共）寄附録

明治１４年　２月（掛札一覧表①）

↓　この部分欠落あり　↓

280

1854

獅子太鼓　太鼓臺共

寄　附　録

湯浅良吉	小野田瀬三郎	玄米　三俵
湯浅小平治	内田竹治郎	金　弐俵
湯浅惠治郎	内田忠治郎	金　弐斗五升
湯浅秀三郎	湯浅友太郎	金
小埜田庄治郎	石井辰治郎	金　五斗弐升五合
湯浅時太郎	小野田平三郎	金　五斗壱升
湯浅高□	湯浅文吉	金　四斗五升
湯浅光治	内田太郎一	金
内田槌太郎	湯浅藤十郎	金　四斗弐升
湯浅卯三郎	石井鉄治	金
内田辰五郎	石井伊八郎	金　三斗弐升
湯浅葛吉	内田恒太郎	金　三斗五升
小西源六	北根専六	金
小野田定吉	石井馬太郎	金
湯浅和吉郎	石井善十郎	金　四斗
湯浅吉治郎	内田啓造	金　弐斗五升
湯浅仲	湯浅千代吉	金
湯浅兼吉	湯浅増太	金
内田忍五郎	小西万造	金　弐斗弐升壱斗
小西綱次郎	湯浅柳次郎	金
湯浅お志希	湯浅嘉三郎	金
濵岩泰	小西槇吉	金　壱斗
石井利吉	内田周吉	金　壱斗弐升五合
石井三十郎	湯浅九三郎	金　壱斗三升五升
湯浅甚四郎	吉岡平三郎	金　壱斗八升
楠見忠太	石井久泰	金
江浦新治	吉岡平造	金　弐斗
内田槇吉	小西衛治	金
湯浅確治	小西万造	金　弐斗弐升壱斗
内田忍五郎	小西万造	金
湯浅増太	湯浅兼吉	金　壱斗五升
湯浅千代吉	湯浅仲	金
湯浅吉治郎	石井周吉	金　弐斗五升
内田啓造	石井周吉	金
湯浅和吉郎	石井善十郎	金　三斗弐升
湯浅卯三郎	石井伊八郎	金　三斗五升
内田辰五郎	湯浅葛吉	金
小西源六	内田恒太郎	金
北根専六	小野田定吉	金
内田槌太郎	湯浅藤十郎	金　四斗弐升
湯浅卯三郎	石井鉄治	金
内田太郎一	湯浅光治	金
湯浅文吉	湯浅高□	金　四斗五升
湯浅時太郎	小野田平三郎	金　五斗壱升
石井辰治郎	小埜田庄治郎	金　五斗弐升五合
湯浅友太郎	湯浅秀三郎	金
内田忠治郎	湯浅惠治郎	金　六斗五升
湯浅小平治	内田竹治郎	金　弐俵
湯浅良吉	小野田瀬三郎	玄米　三俵

右之通…〈以下、後書きは下段に記載〉

注　釈

獅子頭や太鼓（台を含む＝だんじりのことか？）を取得する基金調達のため、各戸から３年間に亘り毎年一度玄米の提供をお願いした「掛札」である。

事前調整で合意が得られた成果だとは思うが、最高３俵から末は一升五合までの拠出した記録である。

ここでは七十世帯の名が書かれているが、当時の出村がこんなに大所帯だったとは思えず、真相はよく分からない。

なお、獅子や太鼓の買い物報告は、②「求買録」（明治十四年）に記載されている。

右之通明治十二年ヨリ十四年迄年一度ズツ御出米被下頭書之通出来ニ相成候故掛札記載候之

世話方
款待社

明治十四年二月吉祥日

〈文　意〉

右のとおり明治十二年より十四年まで年に一度ずつお米を提供して頂き、頭書のとおり成果がありましたので掛け札に記載してこれをお知らせします。